

第5回共同経営・統合新病院整備に係る有識者会議 議事要旨

- 日時 令和6年7月21日（日） 17時00分～18時00分
- 場所 ホテル青森 3階 あすなろ・はまなすの間
- 出席構成員（12名） 青森公立大学 足達准教授
弘前大学 片岡教授（リモート）
弘前大学 福田学長【座長】
青森市医師会 北畠会長
青森地域広域事務組合 村上消防長
平内中央病院 首藤院長
青森県医師会 高木会長
全国自治体病院協議会 丹野青森県支部長（十和田市立中央病院事業管理者）
医療法人芙蓉会村上病院 水木院長
乳がんピアサポートBECあおもり 佐藤代表
血液疾患と歩む患者・家族の会 納谷氏（青森県医療審議会委員）
青森市病院運営審議会 原子前委員
- 欠席構成員（2名） 東北大学 岡田教授
青森市町会連合会 佐々木会長

○案件

- （1）第4回有識者会議の議事要旨について
- （2）整備場所の比較検討資料について

○その他

（1） 第4回有識者会議の議事要旨について

- ・意見なし（前回の議事要旨について承認）

（2） 整備場所の比較検討資料について

（事務局（市））

- ・「本会議の提案に対する市の考えについて」という資料を配付しているが、このことについて事前にご説明したい。今回の提案については、現在供用中の市の施設が含まれていることや、資料の記載内容には多くの疑問点があり、現段階の県からの提案に対して市として同意しているものではない。市としては、今回提案のあった内容について、7月23日に統合新病院整備場所等検討会議を開催し検討を進めることとしており、その結果について、次回以降の有識者会議において報告したい。

（事務局（県））

- ・前回から今回までの検討の経過等についてであるが、前回の有識者会議において外環状線エリアについての検討の指示と青い森セントラルパークに関しての交通の懸念が出されたことを踏ま

え、知事から、まずは青い森セントラルパークに関する交通の懸念を払拭するための必要な方策の検討と、外環状線エリアにおいて検討対象として提示できる場所について、病院局だけではなく、県土整備部、健康医療福祉部、危機管理局など、県庁全体で論点を整理の上、整備地点の案を具体化し、比較できるようにすることの指示があった。

- ・その指示を受け、資料をまとめ、去る7月10日に青森市に説明したところ、青森市から98件の質問・意見があり、回答したものの、その後改めて85件の追加質問・意見があり、現在はそれに対応中という状況である。
- ・従って、本日の資料は、青森県作成資料という形でのものであり、これまでの青森市からの質問・意見を踏まえ、修正すべきものは修正しているものも一部あるということについては申し添えておきたい。
- ・なお、今回、一部報道が先行し、限られた情報の中で憶測や議論が進んでしまっていることは非常に残念であり、もとより公開の場での議論のため、本有識者会議を開催しており、今後は落ち着いた環境の中で、各分野の専門家の皆様から御意見を頂戴し、この有識者会議において議論が進んでいくことに期待したいということ、知事も申し添えていたところである。

(村上構成員)

- ・救急搬送の際、環状7号バイパスについては、浅虫方面から走行した場合、交差点を右折して新城側からの走行車線2車線を横断して浜田中央公園のエリアに進行することになるが、高速道路の高架下で見通しが非常に悪い。
- ・環状7号線は令和3年から令和5年までの3年間で164件の交通事故による救急出動があり、交差点周辺で最も多く発生している。
- ・一般車両はある程度スピードを出して走行していることから、条件が揃えば、搬送中の傷病者を巻き込んだ大事故に繋がる可能性が非常に高く、過去にもこの交差点付近において救急車の事故も数件発生している。
- ・見通しのきかない交差点における赤信号での二車線横断が必須となる状況は、事故リスクの高い非常に神経を使うものであることを考慮していただきたく、このこともデメリット欄に記載いただきたい。

(福田座長)

- ・青い森セントラルパークへの搬送の際も同様と考えるがどうか。

(村上構成員)

- ・青い森セントラルパークでも右折は必要だが、浜田中央公園の方が回数は多くなる。
- ・資料に記載されている救急車搬送時の騒音公害の部分についてであるが、救急車のサイレンは、通常の音量での運用のほか、住宅モードや弱モードがある。時間帯や地域特性に応じてスイッチを切り替えて走行することとしており、これにより騒音はある程度緩和されるものとする。

(足達構成員)

- ・青い森セントラルパーク周辺道路の混雑度について、渋滞対策を実施した場合の推計を示していただきたい。

(事務局 (県))

- ・可能ではあるが時間を要するものと考えている。

(丹野構成員)

- ・既存施設を移設することを考えるのであれば、移設場所を担保することが重要であるとする。

が、移設場所の見通しはどうなっているのか。

(事務局 (県))

- ・現時点の知事の考えを申し上げますと、県営スケート場、サンドームの移設先は青い森セントラルパークが最有力と考えている。
- ・スケート場については、現在の利用状況などを踏まえ必要十分な規模で建替えをすることになるのではないかと。また、サンドームについては、青森市の考えにもよるが、病院のレイアウト次第では、今の場所を残すこともあり得るかもしれない。新しく作ることを考えれば、青い森セントラルパークが最有力ではないかというのが知事の思いである。スケート場と一体で整備し、県としても必要なサポートができるのではないかと考えている。
- ・サンドームについては、青森市民の利用状況が多いことから、新しい施設ができるまで残しておくことも考えられる。
- ・浜田中央公園については、一部を残すなど様々な検討の余地はあると考えている。また、知事の思いとしては、青い森セントラルパークを、憩いの場としての公園を整備することも考えられる。

(片岡構成員)

- ・青い森セントラルパークは、現在道路啓開計画の対象となっていないが、統合新病院など重要な施設ができた場合は対象になると考えてよいのか。

(事務局 (県))

- ・東北地方整備局と関係機関で検討している道路啓開計画案では現時点で青い森セントラルパークは優先的な施設となっていないが、今後優先すべき施設が整備されていく中で適宜見直しが図られていくものとする。一方、木の幹と枝で考えればわかりやすいが、幹に当たる部分に隣接する場所と、枝に当たる部分に隣接する場所ということであれば、優先度が高まったとしても一定程度の差が出るものと考えている。

(片岡構成員)

- ・県営スケート場及びサンドームは、災害時の1次物資拠点に指定されており、青森県全域が被害を受けたときに国からまとめて送られてくる物資を受け付けるところになるので、屋内で車が走行できるような大きな施設が必要になる。代替施設については検討しているのか。

(事務局 (県))

- ・備蓄のことも含め、代替施設については今後検討していくことになる。

(北畠構成員)

- ・統合新病院を浜田中央公園に整備すると、村上病院、あおもり協立病院の3つの医療機関が集中してしまうのはどうかと、青森市医師会側としては考えている。青森市の東側に大きな医療機関がなくなることを危惧している。

(福田座長)

- ・担う機能が違うと思う。3次救急を含めた高度医療機関になるので、軽症の患者が慢性的に通う病院ではないと理解いただくしかないと思うが。

(水木構成員)

- ・災害発生時など、高次救急がそばにあり、ステージごとに患者を分けたときに症状の軽い患者を当院(村上病院)やあおもり協立病院さんに送ってもらうなどの連携ができると思った。また、統合新病院とは担う役割が異なるため、逆に集中することにより医療の棲み分けが可能になる部分もあると考える。

(納谷構成員)

- ・青い森セントラルパークについては新駅ができるということであれば、下北からのアクセスについても当然配慮いただけるとは思うが、下北交通が今の県病からさらに新しい病院まできちんと延伸してくれるのか。
- ・資料にはバス路線の見直しと記載されているが、下北地域に限らず、バスの会社が少ないとか、交通網が脆弱な地域については、統合新病院へのバス路線をきちんと整備するように取り組んでいただきたい。
- ・車椅子を利用している患者が玄関前で乗り降りしやすいなど、利用しやすい病院にしてほしい。

(片岡構成員)

- ・地盤の比較に関する資料について、図面などの資料を提示いただきたい。

その他

(事務局 (県))

- ・今後のスケジュールについては、青森市の統合新病院整備場所等検討会議において整備場所の比較検討資料の説明、意見聴取を行い、その後、有識者会議の開催を予定している。日程については、遅くならない時期に開催できるよう日程を調整していきたい。

(福田座長)

- ・有識者会議の構成員としては、統合新病院が果たすべき役割を中心に考えていただいて、そこを中心に考えたときに、どの場所が最適なのか、そしてそれが県民・市民にとってベストな場所なのかということを中心に皆さんの御意見をまとめておいていただければと思う。

以上